

平成26年度筑波大学重点公開講座 筑波大学移動キャンパス『出前公開講座』

著者	本間 三和子
雑誌名	大学体育研究
号	37
ページ	66-67
発行年	2015-03
URL	http://hdl.handle.net/2241/00124257

平成 26 年度筑波大学重点公開講座 筑波大学移動キャンパス『出前公開講座』

本間三和子

1. 概要

茗溪会のサイトに公開講座の案内を掲載していただいたところ、大阪市此花区の咲くやこの花高校教諭平澤あず先生（平成 13 年体専卒、ハンドボール部）より出前公開講座の要請があり、今回の公開講座が実現した。われわれが企画している出前公開講座は実技指導が主なプログラムであるが、今回は「スポーツ系」分野の生徒を対象にスポーツ科学の講義・演習をお願いしたいというリクエストに応え、「スポーツ科学の知識を指導・練習に活かそう！」というテーマで講義を行うこととした。

咲くやこの花中高は、ものづくりやスポーツ、言語、芸術など、早くから興味・関心の現れやすい分野の才能を伸ばすことを目標とした併設型の中高一貫教育校である。生徒は個性豊かで陸上や体操などの部活に力を入れている。「スポーツ系」の生徒への講義であることから、筆者の専門競技であるシンクロナイズドスイミングを題材に、シンクロ競技の概要、代表チームのトレーニング、科学的研究例を紹介した。

2. 実施期日

2014 年 11 月 7 日（金）
13 時 25 分～15 時 15 分

3. 実施場所

大阪市立咲くやこの花中学校・高等学校 1 階 多目的ホール
〒554-0012 大阪市此花区西九条 6-1-44
JR 大阪環状線「西九条」駅 南西約 500m

4. 講師ほか

- ①講師：本間三和子（体育系教授）
- ②広報：平嶋健人（筑波大学新聞編集長，社会学類）

5. 参加者

咲くやこの花高等学校スポーツ系列 1～3 年次生 約 75 名および他校教育関係者約 10 名

6. 実施内容

「スポーツ科学の知識を指導・練習に活かそう！」をテーマに、(1) シンクロナイズドスイミングとは、(2) 科学を活かす、(3) 日本代表マーメイドジャパンのトレーニング、について講義を行った。

7. 受講者の声

「常に知的好奇心を持ってトレーニングに励もうと思った」、「朝練を頑張ろうと思った」、「筑波大学に進学したいと決意が固まった」など、トレーニングの取り組み方やスポーツ科学への関心が強まったという感想が多くみられた。講義後の Q&A では、素朴な質問が多く、高校生らしさがにじみ出していた。教員の方々からは、「生徒たちが通常の授業では見たことがないほど熱心に講義に聞き入っていた」、「スポーツ系列」の生徒だけでなく、他の分野の生徒にもぜひとも聴かせたい内容だった」との感想が寄せられた。

8. 総括

咲くやこの花高校には前出の平澤あず先生のほか、進藤有希先生（平成9年卒業、バレーボール部）、藤田健一先生（平成11年卒業、器械体操部）といった本学卒業生らが、体当たりで部活指導や授業運営に励んでいる。今回の出前公開講座だけでなく、様々な機会を利用して他分野のエキスパートの講座等を企画し、生徒の視野を広げようと鋭意努力をしている。それは、森知史校長や進学指導担当教員の話からも感じ取れ、先生方の向上心の高さがとても印象に残った。

この出前公開講座の目的のひとつは、筑波大の魅力をPRし、社会貢献することである。複数の生徒が「講義を聴いてスポーツ科学やトップレベルのトレーニングの重要性を認識し、どうしても筑波大へ進学したいと思った」という感想を述べていたことから、本出前公開講座の目的を達成していたと考えられる。今後は、筑波大のなじみの薄い地域に踏み込んで本学の魅力を伝えていくことも考えていきたい。

なお、同行取材してくれた社会学類の大学新聞編集長の平嶋君は、この大阪出張が生まれて初めての新幹線乗車経験であったという。精力的な取材に紙面を借りて感謝したい。



写真1 大阪市立咲くやこの花中学校・高等学校

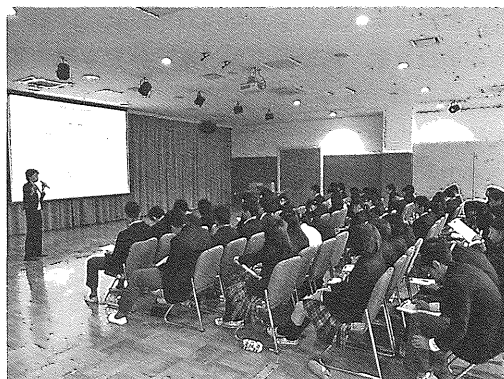


写真2 講義風景



写真3 Q&A